［認知症対応型共同生活介護用］

# 1. 評価結果概要表

作成日　平成　20 年　7 月　22 日

【評価実施概要】

| | |
|---|---|
| 事業所番号 | ２１７０１０２８４８ |
| 法人名 | 有限会社 安寿 |
| 事業所名 | グループホーム 花咲小町 |
| 所在地 | 岐阜市太郎丸諏訪１７４番地<br>（電話）　０５８－２２９－２２７２ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 評価機関名 | ＮＰＯ法人ぎふ福祉サービス利用者センター　びーすけっと | | |
| 所在地 | 各務原市三井北町３丁目７番地　尾関ビル | | |
| 訪問調査日 | 平成20年7月10日 | 評価確定日 | 平成20年8月8日 |

【情報提供票より】　（平成　20 年　6 月　20 日　事業所記入）

（１）組織概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設年月日 | 平成　15 年　11 月　19 日 | | |
| ユニット数 | 2　ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 16 人 | 常勤　15 人,非常勤　1 人,常勤換算　15.5 人 | |

（２）建物概要

| | |
|---|---|
| 建物構造 | 小町：軽量鉄骨 造り　式部：木造平屋 造り |
| | 1　階建ての　1　階部分 |

（３）利用料金等（介護保険自己負担分を除く）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 家賃（平均月額） | 45,000・51,000　円 | | その他の経費（月額） | 15,000～　円 |
| 敷　金 | 無 | | | |
| 保証金の有無<br>（入居一時金含む） | 有（契約金　200,000円<br>保証金　100,000円） | | 有りの場合<br>償却の有無 | 有（契約3ヶ月未満半額<br>保証金退去時返金） |
| 食材料費 | 朝食 | 300　円 | 昼食 | 300　円 |
| | 夕食 | 400　円 | おやつ | 100　円 |
| | または1日当たり | 円 | | |

（４）利用者の概要　（平成　20 年　6 月　20 日　現在）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 利用者人数 | 18　名 | 男性 | 3　名 | 女性 | 15　名 |
| 要介護１ | 1　名 | 要介護２ | 5　名 | | |
| 要介護３ | 2　名 | 要介護４ | 4　名 | | |
| 要介護５ | 5　名 | 要支援２ | 1　名 | | |
| 年齢 | 平均　83.5　歳 | 最低 | 60　歳 | 最高 | 95　歳 |

（５）協力医療機関

| | |
|---|---|
| 協力医療機関名 | 大前医院・竹内クリニック・松田歯科 |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営者の住み慣れた所有地にホームの拠点があり、設立当初より地域の一員として受け入れられている。管理者である看護師を中心とした医療を伴う介護及び積極的な看取りの取り組みがあり、その実績でも、医師・看護師、家族、介護職との緊密な連携によって、精神的、肉体的な負担を克服している。職員の雇用も安定しており、地元採用の職員が生き生きとした表情で、利用者に寄り添い、穏かな暮らしを支えている。管理者は、医療の対応が必然的に増加することが予測される中で、先駆的に取り組み、グループホームの役割・機能を活かしながら、1人ひとりの生命力を引き出し、心身の活性化に繋げるように熱意を持って実践している。

| | |
|---|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4） |
| | 前回の改善課題では、改善された項目が多いが、災害対策や同業者との交流は今後も継続課題となっている。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4） |
| | 自己評価の取り組みでは、特定の職員が関わるのではなく、全職員が参加して意見をまとめ、より良いサービスに向けた評価の意義と課題を共有する仕組みを取り入れている。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6） |
| | 運営推進会議は、年3回行われ具体的な課題を取り上げる等、一定の成果を得ている。今後も、地域密着型の画期的な制度として会議の機能を活かすことと、開催回数を含めて検討している。 |
| 重点項目③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8） |
| | 家族の意見は、暮らしの中での過ごし方や役割りについての要望が多く、家族の思いと利用者の身体能力とを考慮しながら支援している。終末期の対応では、不安のないように、家族には丁寧な説明が行われている。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携（関連項目：外部3） |
| | 運営者、職員は、地元の人で占められ、近隣住民とは、馴染みの関係がある。地域に根ざしたグループホームの役割りの理解が得られ、自治会とも友好的であり、24時間対応の医院も近くにある。 |

# 2. 評 価 結 果 （詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅰ. 理念に基づく運営** | | | | | |
| **1. 理念と共有** | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 自然環境に恵まれた地域の中で、利用者に寄り添いながら穏かな暮らしを支える利用者本位の理念を掲げている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 各ユニットの見やすい位置に理念を掲示し、管理者と職員で共有し、連携を十分とりながら日々の実践に活かしている。 | | |
| **2. 地域との支えあい** | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい<br><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 運営者、職員も地元の人達で構成されていて、近隣とは気楽に声掛けができる馴染みの関係ができている。自治会からの協力関係も得られている。 | | |
| **3. 理念を実践するための制度の理解と活用** | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用<br><br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価は職員全員で取り組み、問題点を検討し、改善点を共有する仕組みを今年度から取り入れている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は年3回開催されている。討議されたホーム周辺の環境整備については、自治会長から行政へ働きかけてもらった実績もある。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市の北東部ケア会議が年4回行われ、講師を招いた勉強会、行政の動向等情報交換を行い、交流している。 | | |
| **4. 理念を実践するための体制** | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | ホーム便りを1人ひとり個別に発行し、利用者の暮らし振りや職員の様子も、2ヶ月毎に報告している。金銭出納は、毎月報告している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族が頻繁に訪れているので、意見を聴く場面を設けている。家族からは、日記をつけたり、得意なことはできるだけやらせて欲しいとの要望が出されており、利用者の実態に応じながら要望に沿うように努めている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動は、これまで1名のみで、馴染みの関係が維持されている。ユニット内の異動も最小限であり、雇用も安定している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **5. 人材の育成と支援** | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員の段階に応じ、認知症介護実践研修等を受講している。また、地域の通所介護事業者が行う学習会には、開催のつど、常連として参加している。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 交流を希望する同業者が見つかっていないのも理由にあげられるが、同業者との実質的な交流は行っていない。 | ○ | 同業者との相互交流で良いところを学びあい、さらなる質の向上を目指されたい。 |
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援**<br>**1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応** | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | デイサービスやショートステイの利用経験者が多いが、入居希望者には、1週間の体験入居を提供し、徐々に馴染めるように支援している。 | | |
| **2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援** | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 習字、ぬり絵、草引き、家事など得意なことで、利用者のできることや意欲をひきだしながら職員も一緒に行い、利用者には感謝と学ぶ気持ちを言葉にしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| **1. 一人ひとりの把握** | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ユニットを替わりたい利用者の思いに応じ、実現している。窓越しに見えるコンビニで買い物をしたい人、盆正月に家に帰りたい人、それぞれの思いを把握し、家族にも伝え支援している。 | | |
| **2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し** | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | 毎月の職員全員によるケア会議で本人の状態を検討し、介護計画に反映させ、作成している。家族と十分連絡を取ると共に、訪問時に同意の署名をしてもらっている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的な見直しを6ヶ月ごとに行っているが、状態の変化に応じても随時見直しを行っている。その場合には、家族や関係者と十分な話合いを行っている。 | | |
| **3. 多機能性を活かした柔軟な支援** | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 医療連携体制を活かし、医療処置を行いながら生活の継続や終末期医療を支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働** | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br><br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 提携医との24時間体制、週に1回の訪問診療、歯科医の随時訪問治療の体制がある。かかりつけ医への受診には、看護師が同行し、支援している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br><br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 終末期の対応を文書化し、看取りに関する指針を作っている。これまでに看取りの実績が5名あり、チームワークを結束し、精神的負担を乗り越えている。 | | |
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**<br>**１．その人らしい暮らしの支援**<br>**（1）一人ひとりの尊重** | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 1人ひとりの尊厳と誇りを損ねないように、言葉かけに配慮している。特に、指示的な言葉ではなく、寄り添うケアに努めている。記録類は個人情報保護に配慮した管理をしている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 新聞の取り入れ、洗濯たたみ、草引き、外出等、本人の好きなこと、できることを本人のペースで行ってもらい、支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| （2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備では、野菜や食材のしたごしらえに利用者も参加している。職員も一緒に会話を交しながら食事を楽しんでいる。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 1日おきに入浴ができ、利用者が選択できるように設定している。広く明るい浴室でゆったり入浴ができる。 | | |
| （3）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 習字やぬり絵の作品が廊下に貼られている。花作りや畑で野菜の収穫、音楽療法士の毎月の定期訪問、誕生会の特別メニューも楽しみとなっている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 周囲に手ごろで安全な散歩コースがあり、希望にそって出かけている。喫茶店や買い物にも出かける機会を提供している。 | | |
| （4）安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中の鍵はかけることなく開放している。見守りで十分な対応ができている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取り組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 27 | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 近所で1件の火災事件があったが、地域の協力体制が発揮され被害は最小限に抑えられた。ホームとしては、消防署を含めた訓練や自主避難訓練等は行われていない。 | ○ | 消防署の指導の下での訓練や自主訓練を年に数回実施することが望ましい。地域との協力体制も具体化されると良い。 |
| （5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 胃ろう対応が2名、ペースト食1名、刻み食の利用者もあり、個別に対応した支援を重視しながら支援している。看護師の指導の下で、栄養バランスに配慮したメニューが提供されている。 | | |
| **2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり**<br>（1）居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ゆとりのある広い居間、廊下には、前面にカーペットが敷かれ清潔感と温かみがある。また、居間のソファでは、利用者同士がくつろいでいる。ベランダでは、周辺の景色を感じながら、湯茶を楽しむことができる。廊下に外気が自然に流れ、採光も良い。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には、絵画や花、家族の写真が飾られている。居室空間が繁雑にならないようにレイアウトされ、居心地に配慮されている。 | | |

※ ▒ は、重点項目。

※ ＷＡＭＮＥＴに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式１）を添付すること。